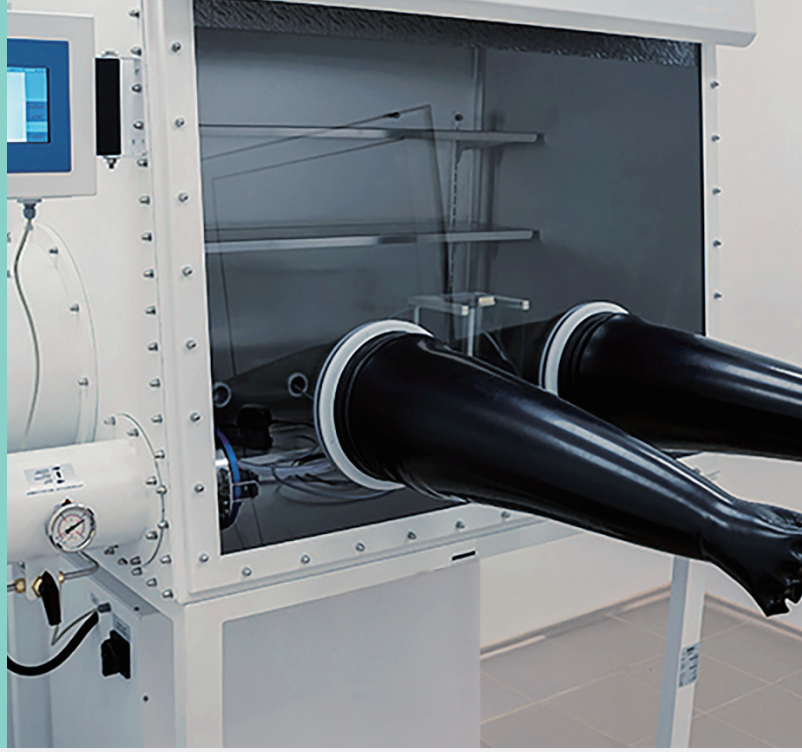
VAISALA

DRYCAP® Performance Care

対象製品：DMT143L/152

校正&センサ素子交換で高性能維持

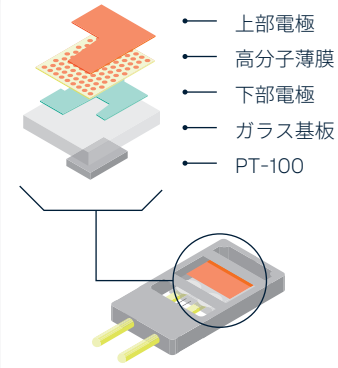


DMT143L



DMT152



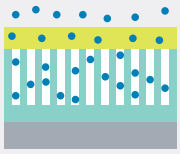


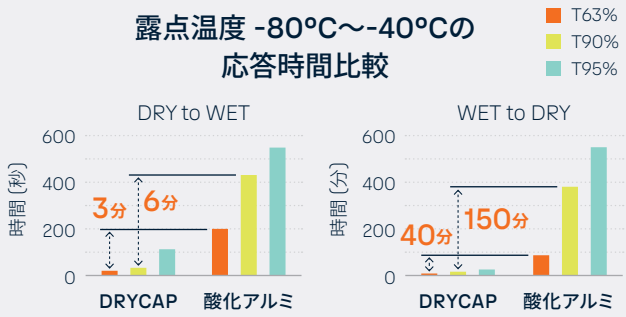
DRYCAP®

高分子薄膜静電容量式センサ素子

VS

一般的な酸化アルミセンサ





厳しい環境でもライフサイクルにわたり安定的な露点計測を行うために。

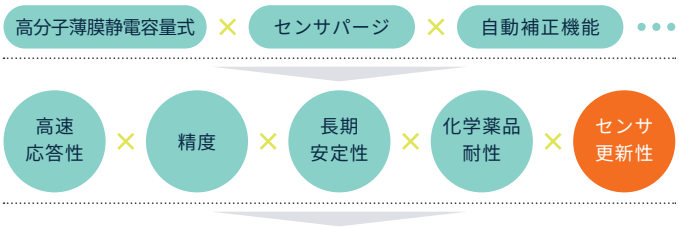
DRYCAPだから可能な、定期的なセンサ素子のリフレッシュ

- 独自の露点センサ素子DRYCAPは、センサパージや自動補正などの支援機能と併せ、一般的な酸化アルミセンサに対する圧倒的な高速応答性など、基本性能において卓越しています。
- 酸化アルミセンサではドリフト時にはプローブ全体の交換が一般的ですが、DRYCAPはセンサ部分のみ交換できます。
- DRYCAPも長期安定性に優れていますが、使用環境によりドリフトが生じる可能性があります。 >> 次頁
- 特に厳しい環境下にて露点センサをご活用いただく場合は、Performance Careのご利用を強く推奨しています。

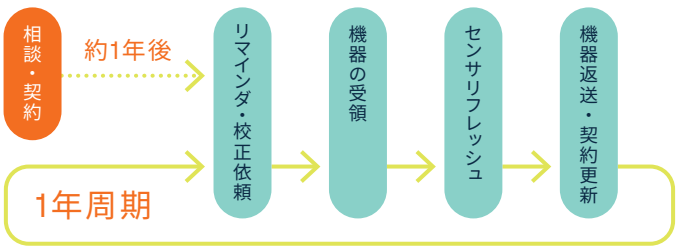
DRYCAP Performance Careの基本メニューとフロー

- 1年周期で以下のセンサリフレッシュ作業*を実施します：調整前校正, センサ素子交換, 調整, 調整後校正
- 本サービスは、新規購入時または年1回を目安に定期的な校正をご継続いただいている場合にのみご利用いただけます。

* トレーサビリティ体系図は標準で付属。認定校正、ポイント追加などについては別途ご相談ください。



DRYCAPの機能特徴／付加価値／Performance Careのバリュー

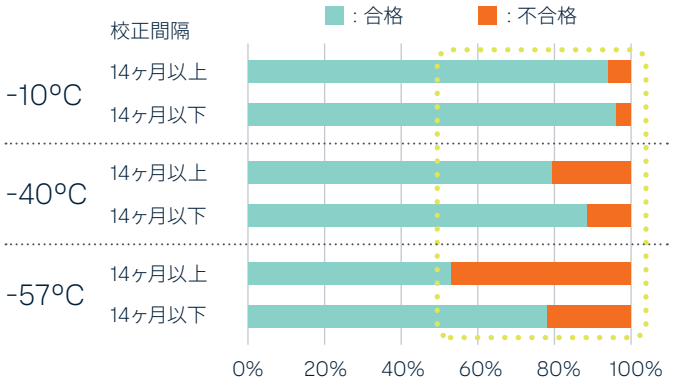


DRYCAP Performance Careの標準的なフロー

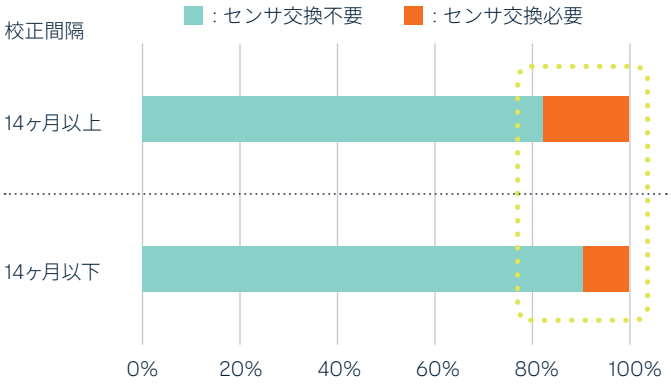
ドリフトリスクの最小化でより安心。それが、DRYCAP® Performance Care。

ドリフトリスク…気づかぬまま、使い続けますか？
ヴァイサラの計測機器は、一般的に高精度で長期安定性に優れています。しかし、世の中にドリフトしない計測機器はありません！使用環境の影響も含め、ドリフトの可能性は必ずあります。

ではドリフトが発生してしまった場合、一体いつから発生していたのでしょうか？その特定は極めて困難です。生産性を確実に保つためは、定期的にセンサの“健康診断”を実施し、精度や応答性を調査、リフレッシュすることを推奨しています。



調整前校正結果の比較　最大5年｜露点計A｜800件

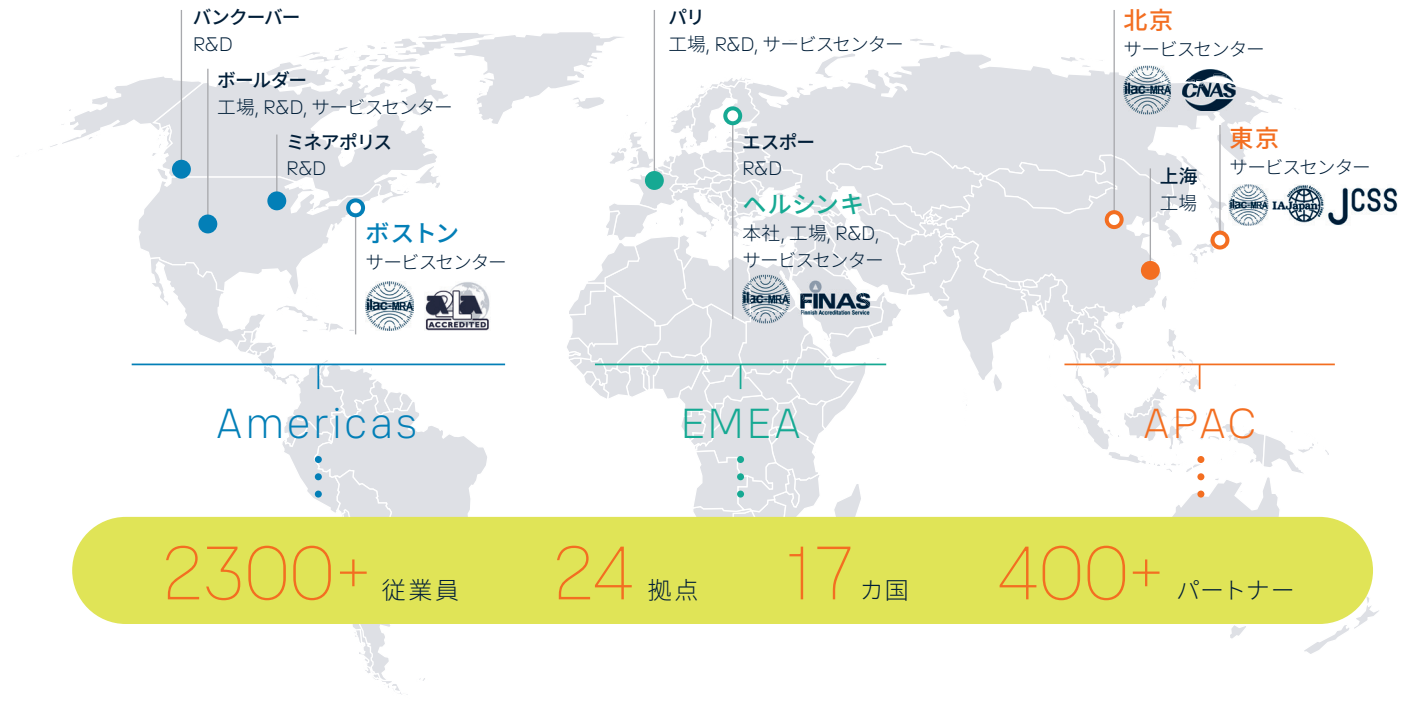


センサ交換率比較　最大5年｜露点計A｜800件

東京サービスセンターが支援します。

ヴァイサラは現在、全世界で4つの主要サービスセンターを運用しています。東京サービスセンターは、その一翼を長年にわたり担っており、ヴァイサラ機器の調整・校正に精通した技術エキスパートがお客様の機器の安定運用をサポートしています。

グローバルサービスネットワーク



露点計の能力を最大限にご活用いただくために。
DRYCAP® Performance Care、ぜひご利用ください！

ヴァイサラ株式会社 産業計測事業本部
〒102-0083 東京都千代田区麹町5-1
麹町弘済ビルディング8F
03-5259-5960
sales.japan@vaisala.com

大阪セールスオフィス　06-6940-7568
福岡セールスオフィス　092-419-7179

B212874JA-C©Vaisala 2026
内容は予告なく変更する場合がございます。

お問い合わせフォーム